



ささえあい

第23号 平成21年11月

医療法人社団玲瓏会
金町中央病院
病院長 野田 剛
担当部署 事務局企画部

発行元
東京都葛飾区金町1-9-1
TEL 03-3607-2001
FAX 03-3607-2082

主な記事

消化器内視鏡技師にインタビュー
11月の外来担当医表
金町中央病院からのお知らせ
編集後記

● 消化器内視鏡技師にインタビュー ●

今回の特集では消化器内視鏡技師である検査科の廣瀬技師に
インタビューしました。

—仕事内容について—

「内視鏡技師」とは最近よく聞く資格ですが、実際はどんな
お仕事をしているのですか？

廣瀬技師：検査や治療に使用する処置具や機械類の操作を担当して
います。医師は診断に、看護師は患者さんの介助に注力でき、技師は
治療に直接使用する処置具が適正かどうか、機械が正常に作動しているか、また滅菌や
消毒の操作が正しく行われているかなど注意を払うことが出来ます。特に消毒が大切で、当院ではガイ
ドラインに従った高水準消毒を実施しています。



—検査の受診者について—

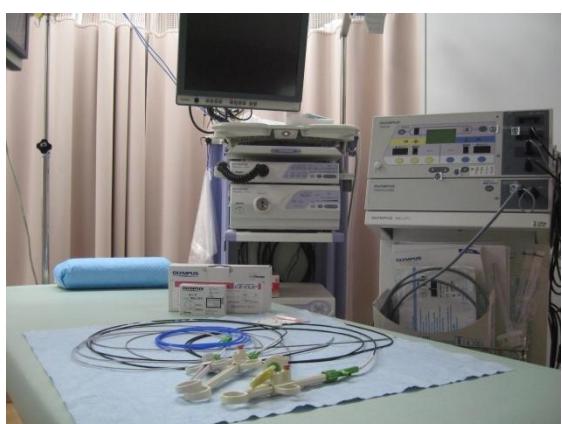
当院で内視鏡検査を受ける方はどのような方が多いでしょうか？

廣瀬技師：診療所からご紹介いただく方が多いことに驚きました。高齢者も多く安全の為、入院精査する
ケースが増えています。検査後、当院での手術はもちろん、大学病院へご紹介している場合もあるよ
うです。

—他のスタッフについて—

チームで検査しているようですが、医師、看護師とのコミュニケーションは？

廣瀬技師：日替わりですが、優秀な医師が揃っていて、患者さんが快適に検査や治療が出来るよう真剣
です。看護師も内視鏡技師の資格を目指し努力しています。



—おわりに—

最後になりましたが、当院での内視鏡検査・治療のPRをお
願いします。

廣瀬技師：セデーションを採用した鎮静下内視鏡を基本とし、
場合によっては経鼻内視鏡を行うなど、患者さんの苦痛が最
小限となるよう注意を払いますが、なにより、患者さんが快
適に検査や治療を受けて頂く様スタッフ共々日々努力してい
ることが素敵だと思います。ちょっと褒めすぎですね（笑）。

● 11月の外来担当医表(下線は常勤医師) ●

	月	火	水	木	金	土
内科	A M <u>梅本・関川</u>	阿部	池嶋・長田 吉原(糖尿)	梅本・野村 渡邊(糖尿)	山城・和泉	呉・福田
	P M <u>伊藤</u>	<u>関川</u>	梅本 吉原(糖尿)	小山 渡邊(糖尿)	加藤	交代制 1週 前田 2~5週
外科	A M <u>野田</u>	<u>村田</u>	小林	野田	村田	野田
	P M <u>三浦</u>		小林	山下	大橋	休診 1・3・5週 尾高 2・4週
婦人	A M <u>瀧下</u>					木村 1・3・5週 休診 2・4週
	P M					
整形 リウマチ	A M <u>森下</u>	竹之内	森下	竹之内	<u>森下</u>	<u>森下</u>
	P M					
泌尿	P M <u>富田</u>	<u>今莊</u>	清田	柚須	岡本	
脳外			古屋			

● 金町中央病院からの お知らせ ●

● お知らせ ●

季節性インフルエンザワクチンの予約は終了しました。

季節性インフルエンザワクチンの予約券をお持ちの方は、十月五日～十一月十二日までが有効期限です。接種されない方は、キヤンセルのご連絡を当院までお願いします。

肺炎球菌ワクチンの供給状況について

肺炎球菌ワクチンについては六五歳以上の重篤な肺炎を予防するものとして接種を希望する方が多く、市場での流通が滞っています。当院におきましても、肺炎球菌ワクチンが入庫しつぶくなっています。

ホームページより
ホームページをリニューアルしました。患者様にも見やすく大き目の文字を採用しています。是非一度アクセスしてみてください。

● 編集後記 ●

● 海外からの新型インフルエンザ発生ニュースか

ら約半年、わが国でも全国規模の本格的な流行期をむかえた●子どもの感染が早くから報じられて

いたが、十月末発表の累計によると、十四歳以下

が七十分以上、二十歳以上はわずか十四%だった

● 感染者数は季節性の流行期並になつた●ワクチ

ンの接種対象は、小児優先、小児にこそ必要、と

いう意見もきかれると

クチンの量は限られています●新型については海外

の流行状況と多少異なつてゐるとも言われている

● 全体の流れを見て、落ち着いた対応が必要とする

● H・N・

携帯電話でアクセス

